

平成30年5月25日

【照会先】

徳島労働局職業安定部職業対策課

課長 阿部 正治

課長補佐 佐藤 正

地方障害者雇用担当官 森野 雅行

電話 (088) 611-5387

報道関係者 各位

ハローワークを通じた障害者の就職件数、8年連続で過去最高を更新

～平成29年度・障害者の職業紹介状況等～

徳島労働局(局長 鈴木 麻里子)は、平成29年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。障害者に対する福祉・教育・医療から雇用への移行を始めとした障害者の雇用の促進について、徳島労働局の重点施策の中に位置付けて取り組んだ結果、ハローワークを通じた障害者の就職件数は、企業の積極的な雇用もあり、平成28年度の618件から伸び、636件(対前年度比18件増、2.9%増)と、**8年連続で過去最高を更新**しました。

ポイント

○身体障害者・精神障害者の障害者について、就職件数は前年度を上回っている。

	新規求職 申込件数	対前年度 (対前年度比)	就職件数	対前年度 (対前年度比)
身体障害者	272件	9件減 (3.2%減)	175件	14件増 (8.7%増)
知的障害者	263件	37件増 (16.4%増)	193件	1件減 (0.5%減)
精神障害者	374件	57件増 (18.0%増)	242件	8件増 (3.4%増)
その他の障害者※	56件	10件増 (21.7%増)	26件	3件減 (10.3%減)
合計	965件	95件増 (10.9%増)	636件	18件増 (2.9%増)

※その他の障害者(発達障害者、高次脳機能障害者、難病者など)

○新規求職申込件数は965件で、前年度比95件増(10.9%増)となっている。また、就職件数は636件で、前年度比18件増(2.9%増)となっている。

○産業別でみると、「医療・福祉」(255件)、「製造業」(97件)、「サービス業」(59件)での就職件数が多くなっている。

○職種別でみると、「運搬・清掃」(248件)、「事務職」(92件)、「サービス職」(85件)での就職件数が多くなっている。

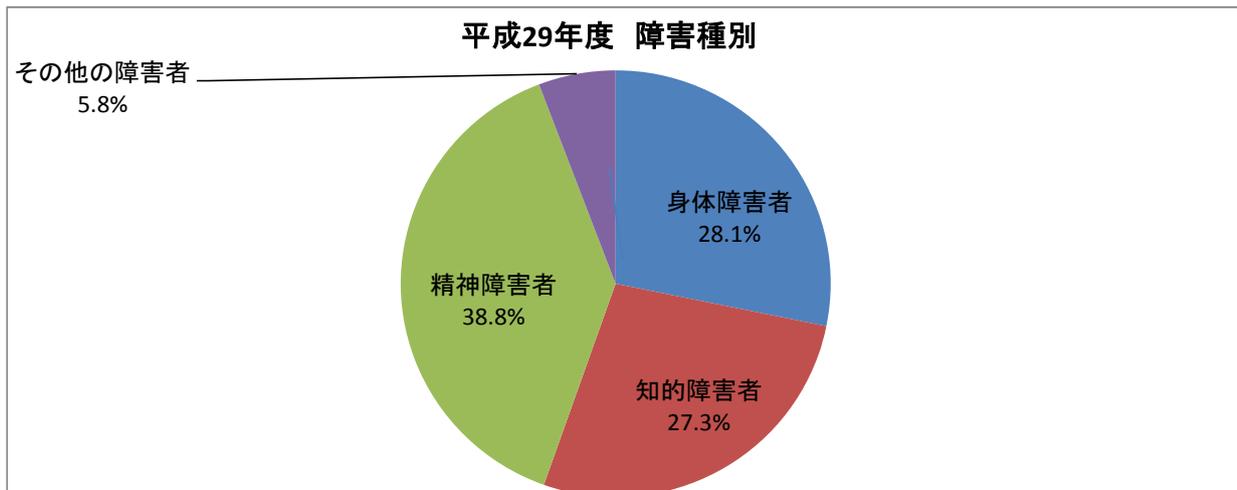
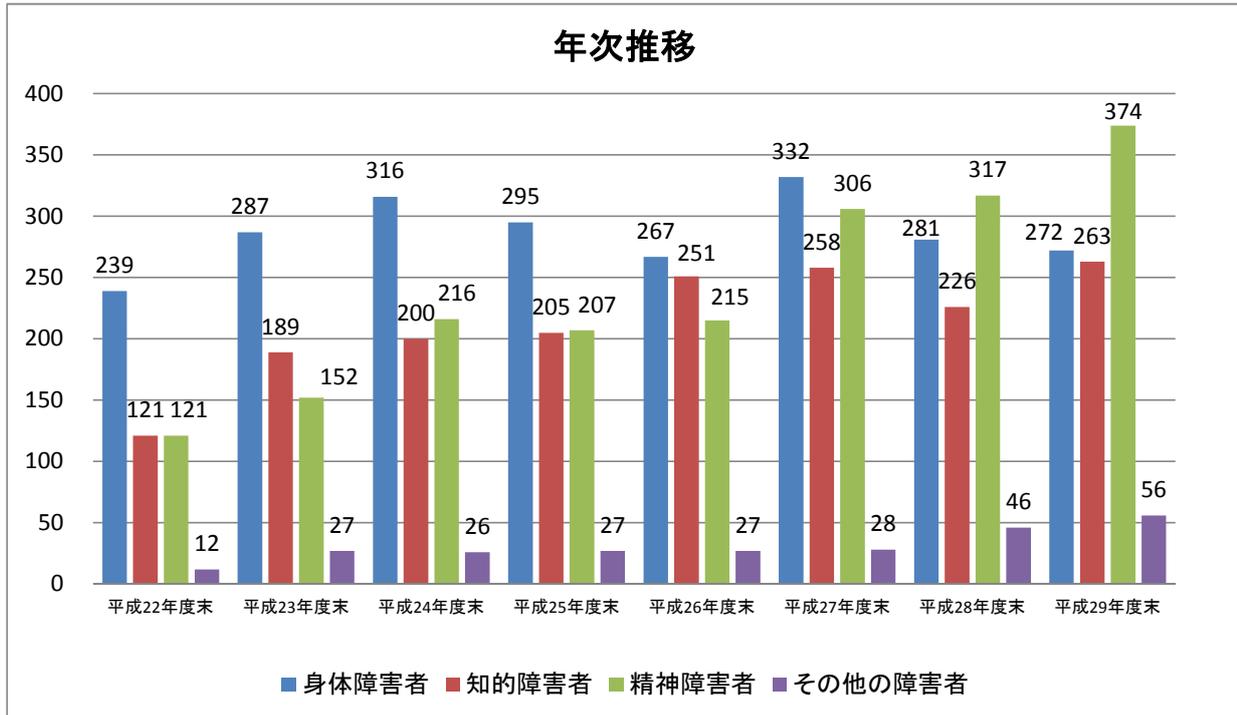
○解雇者数は3人である。うち、3名全員がハローワークの紹介により再就職済である。

ハローワークにおける障害者の職業紹介状況(平成29年度)

1 新規求職申込件数

	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
身体障害者	239	287	316	295	267	332	281	272
知的障害者	121	189	200	205	251	258	226	263
精神障害者	121	152	216	207	215	306	317	374
その他の障害者	12	27	26	27	27	28	46	56
計	493	655	758	734	760	924	870	965

(注)「その他の障害者」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病者等である。



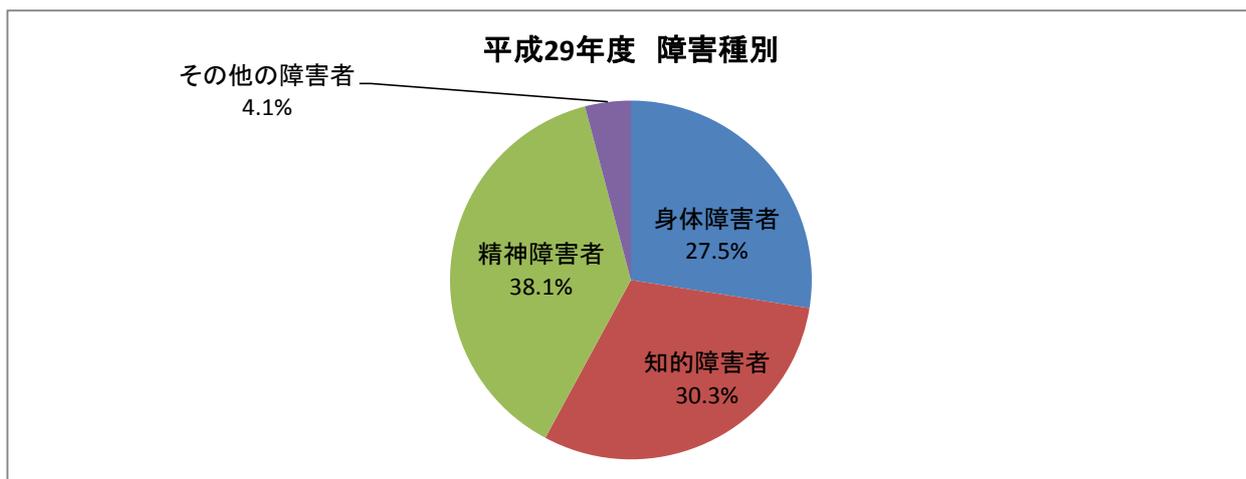
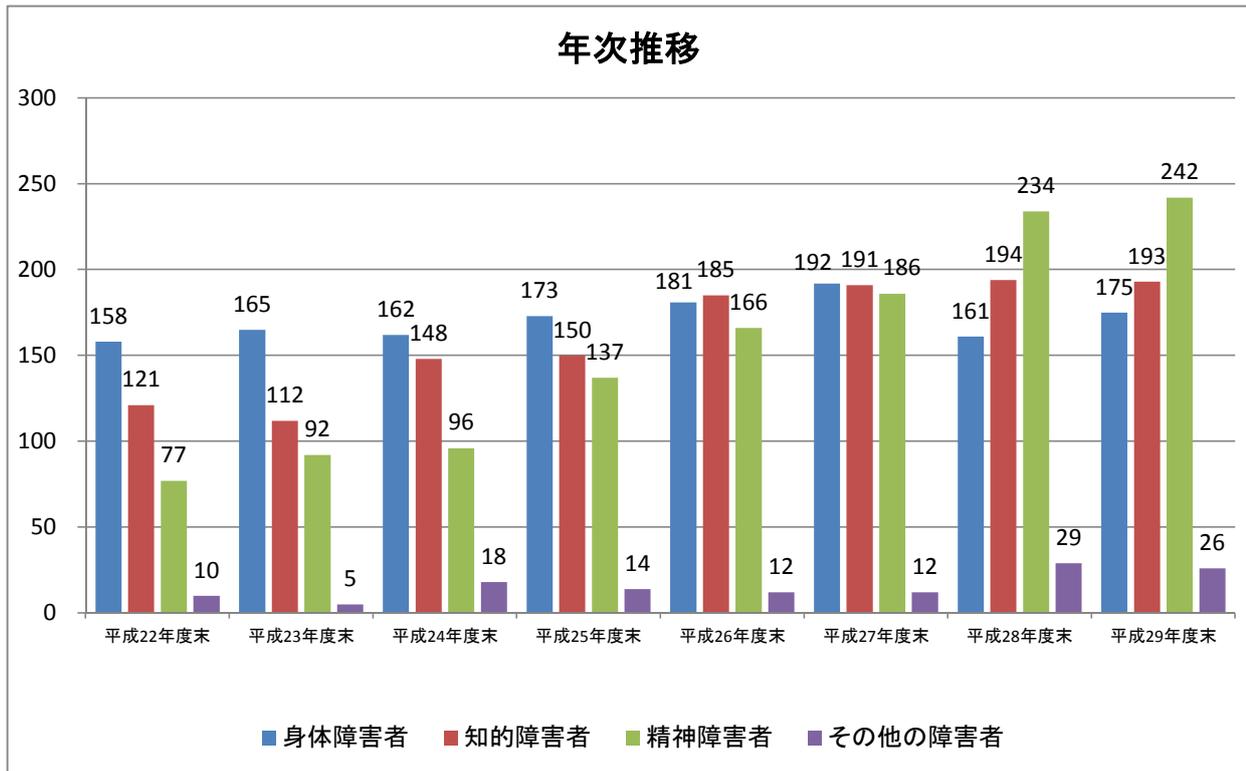
<新規求職申込件数の特徴>

新規求職申込件数は965件で、前年度より95件増加している。身体障害者が9件(3.2%)減少した。知的障害者は37件(16.4%)増加し、精神障害者は、57件(18.0%)増加した。その他の障害者は前年度の46件から10件(21.7%)増加となった。

2 就職件数

	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
身体障害者	158	165	162	173	181	192	161	175
知的障害者	121	112	148	150	185	191	194	193
精神障害者	77	92	96	137	166	186	234	242
その他の障害者	10	5	18	14	12	12	29	26
計	366	374	424	474	544	581	618	636

(注)「その他の障害者」とは、発達障害者、高次脳機能障害者、難病者等である。

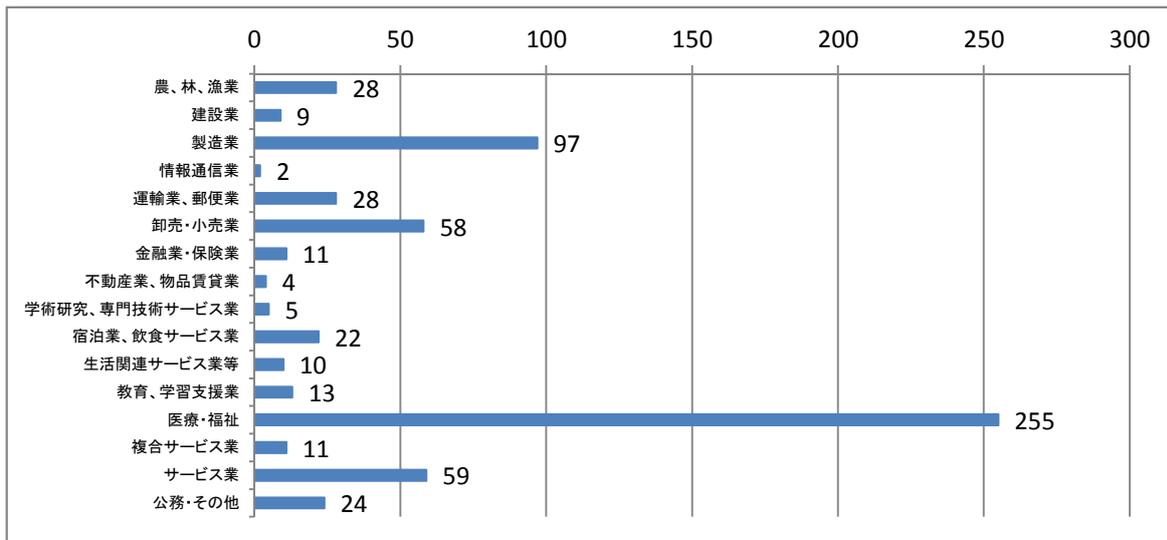


<就職件数の特徴>

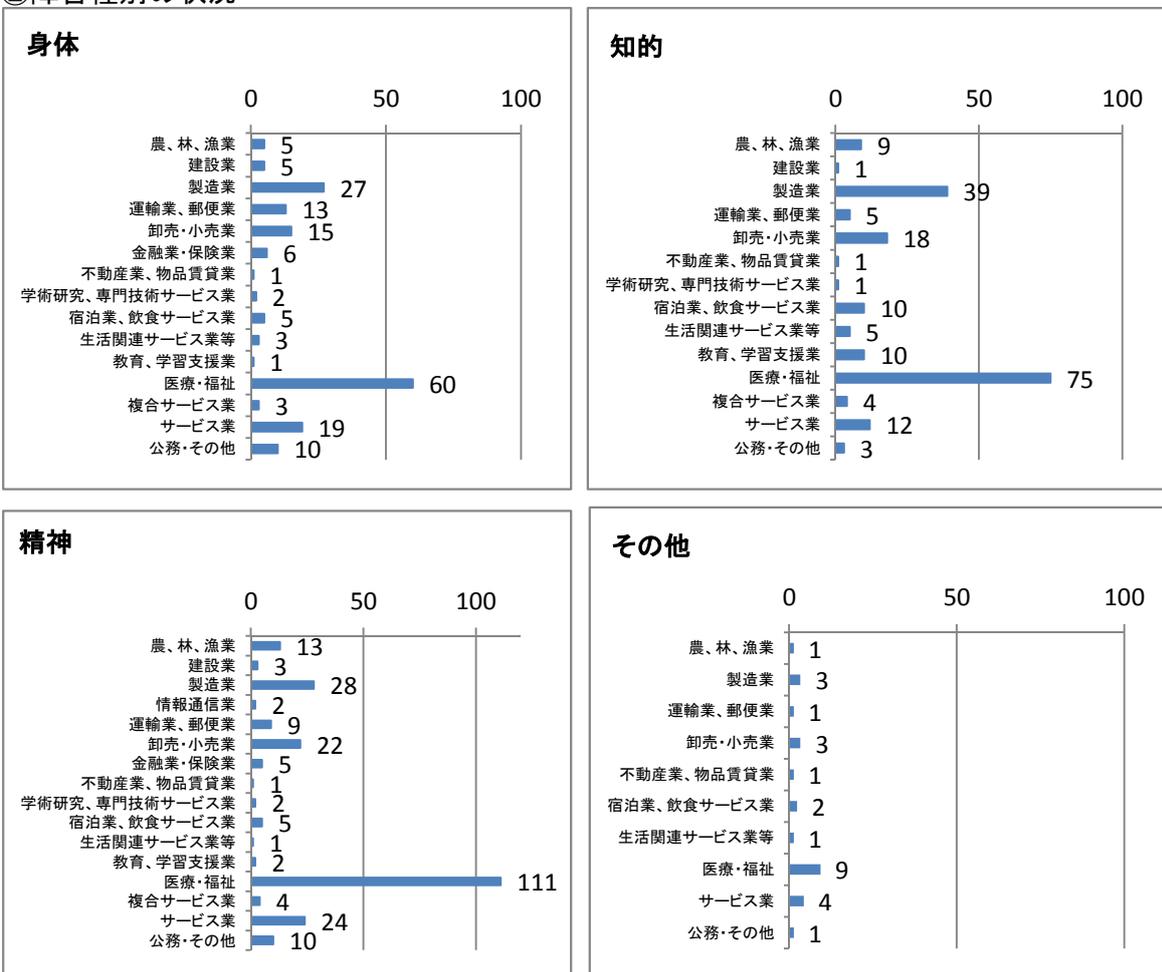
就職件数は636件で、前年度618件に比べ2.9%増となっている。障害種別による内訳は、身体障害者が175件(27.5%)、知的障害者が193件(30.3%)、精神障害者が242件(38.1%)、その他の障害者が26件(4.1%)となっている。

(1) 産業別の就職状況

① 概況



② 障害種別の状況



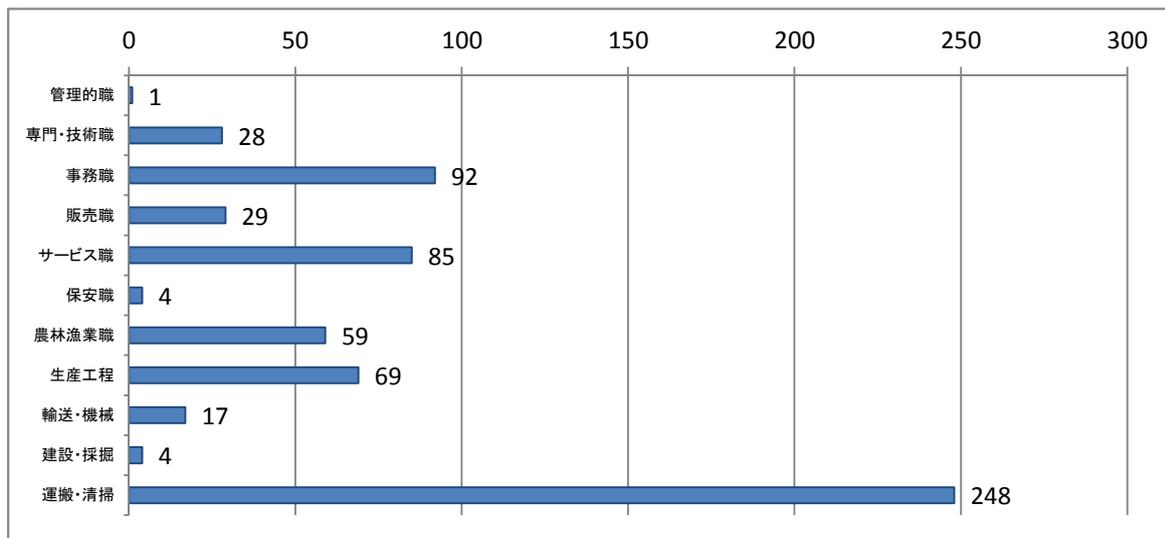
< 産業別にみたときの特徴 >

○ 「医療・福祉」255件で40.1%、「製造業」97件で15.3%、「サービス業」59件で9.3%と多い。

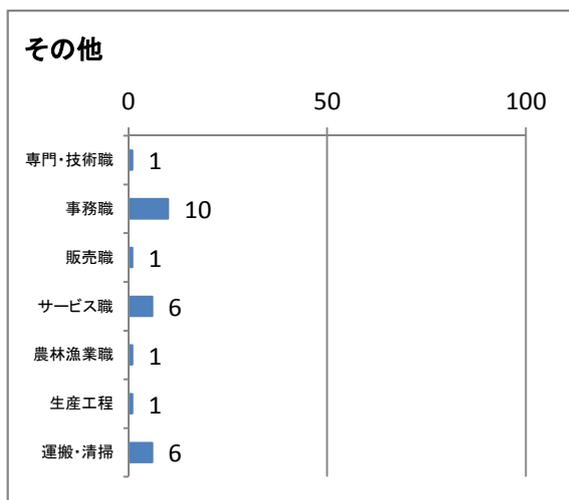
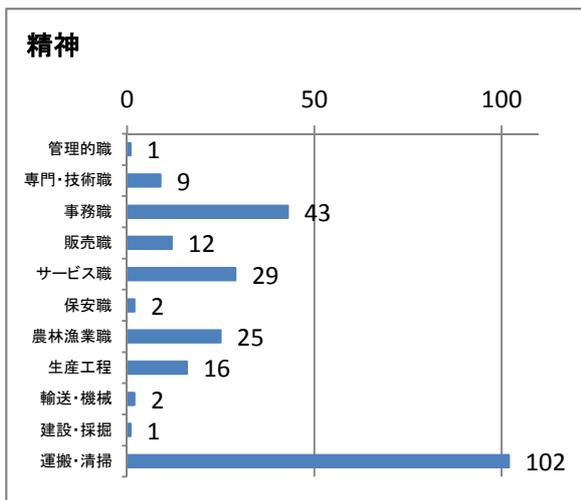
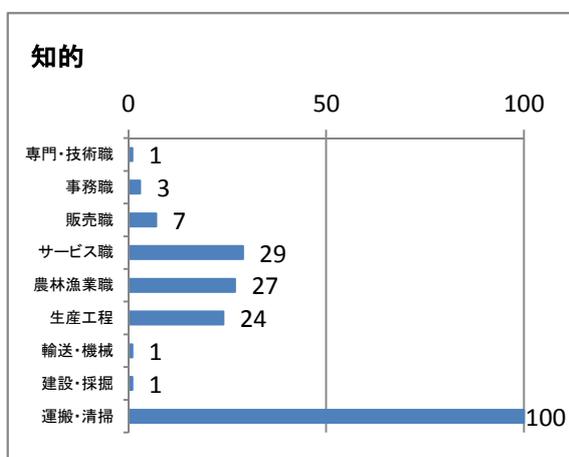
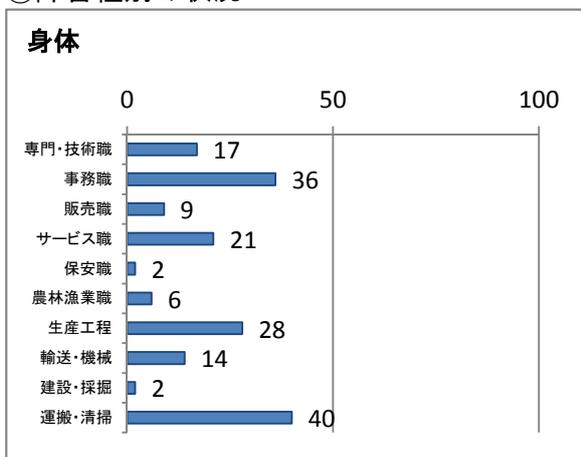
○ 前年度比では、「宿泊業、飲食サービス業」、「医療・福祉」、「サービス業」など半数以上の産業で増加している。

(2)職業別の就職状況

①概況



②障害種別の状況



<職業別に見たときの特徴>

○ 「運搬・清掃」248件で39.0%と高い割合を占めている。次いで「事務職」92件で14.5%、「サービス職」85件で13.4%となっている。

○ 前年度比では、「販売職」、「サービス職」、「農林漁業職」など半数の職業別で増加している。